

「採血」で「膵臓がん」の検査を。

年間約4万人の方が「膵臓がん」で亡くなっています。
がん死亡率第4位の膵臓がんは、治療困難な“がん”のひとつですが、
早期に発見できれば5年生存率は高くなります。

NEW

アポエーツー

APOA2 アイソフォーム

膵臓がん腫瘍マーカー検査

料金

5,500円(税込)

膵臓がんの特徴

がんが発生しても小さいうちは症状が出にくく、早期の発見は簡単ではありません。進行してくると、腹痛、食欲不振、腹部膨満感(おなかが張る感じ)、黄疸、腰や背中での痛みなどが起こります。

こんな方におすすめ

- ✓膵臓がんの家族歴のある方
- ✓糖尿病、肥満の方
- ✓喫煙、飲酒歴のある方
- ✓慢性膵炎等の膵疾患のある方

新しい膵臓がん検査、

アポエーツー

「アポリポ蛋白A2 (APOA2) アイソフォーム検査」とは、
膵臓がんのリスクを調べる腫瘍マーカーです。

- 血液中にあるAPOA2というタンパク質には主に3つのタイプ(アイソフォーム)があり、健康な人はそのバランスが一定に保たれています。
- 膵臓がんになると、このバランスが崩れてきます。
- APOA2アイソフォーム検査は、このバランスを示す指標「APOA2-i Index」を用いて判定を行います。
- 従来の腫瘍マーカーとは異なる物質を測定するため、これまで検出されなかった膵臓がんを見つけられる可能性があります。

アポエーツー

【APOA2アイソフォーム検査におけるご注意】

- APOA2-i Indexが基準値未満であっても、膵臓がんとは限りません。また、基準値以上であっても、膵臓がんではないとは限りません。
- 本検査は膵炎などの膵疾患に罹患されている方でも基準値未満となる場合があります。
- 本検査の結果のみで膵臓がんの診断はできませんので、必ず他の関連する検査結果や臨床情報などと合わせた医師による総合的な診断を受けてください。

下記検査を併用することでより検査精度が高くなります。

●腫瘍マーカー (CA19-9)

2,200円(税込)

悪性腫瘍の可能性を調べる検査です。良性疾患でも高値となることがあります。決定的なものではなく、他の検査とあわせることで診断に役立ちます。

●上腹部超音波検査

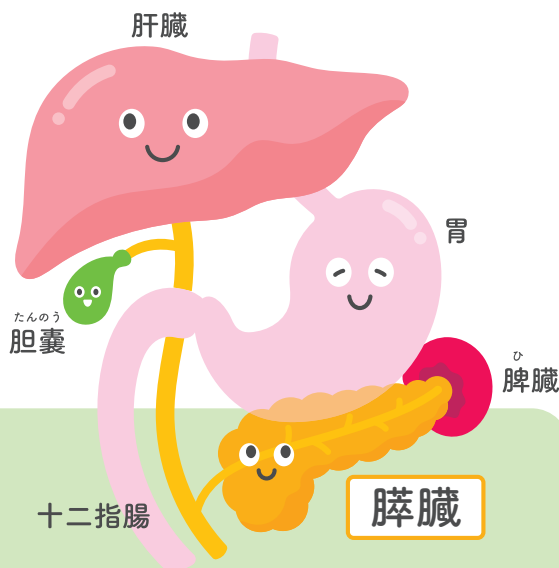
5,500円(税込)

肝臓、胆のう、膵臓、腎臓、脾臓などの腹部臓器を超音波(エコー)を使って検査します。圧迫や体位変換をしながら観察することができます。

●膵臓MRI・MRCP検査

33,000円(税込)

より精度の高いMRI・MRCP検査で、膵臓がんの早期発見につながります。糖尿病の方、家族に膵臓がんになった方がいる方におすすめです。



お申込み

事前予約が必要です。お気軽にお問い合わせください。

倉敷中央病院附属予防医療プラザ
TEL 086-422-6800

AI電話 050-1721-3825 (24時間対応)

●AIオペレーター(自動音声)が対応します。3営業日以内に担当より折り返しご連絡いたします。

00000000 ☎ 10,000